

「令和4年度 学校自己評価について」

学校法人 向洋学園
宮崎ビジネス公務員専門学校
校長 明利 和代

専修学校の学校評価につきましては、平成19年に学校教育法、及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規定が新たに設けられました。

それに伴い、本校では、従来から実施しております授業アンケートのみならず、学校自己評価に取り組み自己点検を行うことで、教育水準の向上と質の保証に更に努めるよう工夫致しております。

ここに、令和4年度の本評価結果を公表いたします。今後、評価を充分に加味、検討しながら、より良い教育の場であることを目指し、改善を進めて参ります。

1. 学校理念

入学者一人ひとりが持つ夢を
専門知識と情熱をもって共に実現し
自ら積極的に考え社会貢献できる学生を育成する

2. 宮崎ビジネス公務員専門学校校訓

誠 実
勤 勉
奉 仕

3. 学校の教育目標

1. 学生の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、また、学校はその為の研究等を計画的に行う。
2. 学生に社会的視野を獲得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に学生の知見を深める教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での体験、教育の場を設ける。

4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. コロナ禍における社会の動きに伴った形式での学習方法を研究し、効果的な学習の場を学生に提供する。
2. 進路目標を達成するまで向上心を持ち、そして安心して学習に取り組める教育環境を築く。
3. 社会貢献に向けて常に関心を持ち、自ら積極的に行動できるよう、情報の提供や実践の機会をつくる。

5. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念目的・人材育成像

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的が設定されている	A
②	学校の教育理念・目的が周知徹底されているまたは、明文化している	A
③	学校が目指す人材育成像が設定されている	A
④	学校が目指す人材育成像が周知徹底されている、または、明文化している	A
⑤	各学校の目的にあわせた特色が実践している教育に現れている	A
⑥	時代のニーズに合わせ、理念・目的・育成像の再考システムが構築されているか	B
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥について、再考システムの在り方に検討の余地があると思われる。 		
<p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が目指す人材育成像等については職員間の情報共有を図り、前回から評価は向上した。時代の変化に合わせてそれらを再考していく際に、職員の考えをもっと取り入れる機会を設定し、各職員の目的意識の向上も目指していく。 		

(2) 学校運営・・・諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校運営の方針が明確に明示されているか	A
②	学校運営方針に沿った各種規定が整備されているか	A
③	学校の意思決定機関が効率的なものであるか	A
④	人材の活用と適切な待遇への整備がされているか	A
⑤	学生及び職員の個人情報について、個人情報保護法を遵守しているか	A
⑥	災害や人災に対し、防犯や予防の対策が制定され、実施しているか	B
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥について、避難訓練を実施したものの、その時期や内容などさらに実践的な訓練を行うために見直しが必要である。 		
<p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営方針、各種規定など評価が上がった点については、適宜必要な説明を行っていく。 ・防犯防災については、想定される災害の情報提供を行い学生職員共に意識を高める。避難訓練もその想定に従い実施していく。 		

(3) 教育活動・・・理念・目的・人材像を反映したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、

キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価・単位認定、資格試験、教職員

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的・目指す人材像を達成する為のカリキュラムが組まれているか。	A
②	学生の実態に合わせ、定期的カリキュラムの見直しが行われているか	A
③	キャリア教育の視点にたったカリキュラムが組まれているか	A
④	関連分野に於ける実践的な職業教育（インターンシップや実習）が体系的に位置づけられているか	B
⑤	授業評価の実施・評価体制が整っているか	A
⑥	授業評価がよりよい授業構成のために役立たされているか	B
⑦	中・長期的視野に立ち、授業計画がなされているか	B
⑧	授業計画が明文化され、記録されているか	B
⑨	成績評価・単位認定は学則・細則・内規に準拠したものになっているか	A
⑩	資格取得の指導体制はあるか	A
⑪	教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか	A
[課題]		
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に評価として不可ではないが、まだまだ改善の余地があると思われる。職業教育をはじめ、長期計画に基づいたカリキュラムの見直しが求められる。 		
[今後の改善方策]		
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で実行できていなかった職業教育について、企業団体等と連携するなど新たな試みを取り入れ、実習型の授業を増やせるようなカリキュラムの計画に努める。 ・教員はオンライン等を活用した研修や講演に積極的に参加し、さらなるスキル向上を目指す。 		

(4) 学修成果・・・就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	就職率の向上が図られているか	A
②	資格取得率の向上が図られているか	B
③	退学率の低減が図られているか	B
④	入退学者数とその推移を把握しているか	A
[課題]		
<ul style="list-style-type: none"> ・すべてをA評価にするためにも、各学生の状況把握や個人に合わせた対策が必要である。 		
[今後の改善方策]		
<ul style="list-style-type: none"> ・担任は学習の進捗状況の確認や家庭状況、希望する進路などの情報収集を行う。そして、可能な限り全職員にも情報提供をし、全員体制で学生のフォローを行っていく。 ・全職員は学生のモチベーションを保つため、日頃の声掛けなど基本的なことをしっかり行っていく。 		

(5) 学生支援・・・進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	進路・就職指導に関する体制が整備され、機能しているか	A
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	A
③	学生への経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	A
④	保護者との適切な連携を図る機会が設けてあるか	A
⑤	卒業生への支援体制はあるか	A
[課題]		
・全項目がA評価となっているが、これに満足せず新たな体制を見出す努力をしていく。		
[今後の改善方策]		
・卒業生や保護者との情報交換は重要である。お互いに相談しやすい関係を保っていくためにも、今後も誠実に対応していく。		

(6) 教育環境・・・教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	教育上の必要性に充分対応できる教育施設であるか	A
②	IT 機器などの教育用設備が教育上の必要性に充分対応できるか	C
③	学外実習やインターンを支援する体制が整っているか	B
④	危機管理や防災についての体制や対策を周知しているか	B
[課題]		
・使用する IT 機器について、設備の充実を図ってはいるが、スペックや台数の件など十分整っているとはいえない状況である。		
・学外実習の方法やインターンシップ支援の体制を、入学してくる学生や社会の状況に合わせて整えていく必要がある。		
[今後の改善方策]		
・カリキュラムの組み方など工夫できる点については検討を行い、少なくとも授業や検定試験に影響が出ないレベルの環境を整える。		
・官庁訪問などの機会を増やすだけでなく、オンラインの活用も行いながら各種説明会への参加機会をつくる。		
・防災については、想定される災害に関する情報提供を行ったうえで避難訓練を実施していく。		

(7) 生徒募集・・・生徒募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	生徒募集活動は適正に行われているか	A
②	就職率や資格取得率など、教育成果の情報提供が適切に行われているか	A
③	入学選考は適正かつ、公平な基準に基づいているか	A
④	学生納付金は妥当なものとなっているか	A
[課題] ・全項目評価結果は良いが、活動そのものにおいては納得のいく成果が出ていない。		
[今後の改善方策] ・学科の特徴や合格実績など、効果的なアピールの仕方をさらに見直す必要がある。 ホームページやSNSの効果的な利用および迅速な更新を行う。		

(8) 社会貢献／地域貢献・・・社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか	A
②	地域や、高校、中学などを対象に公開授業や出張講座を行っているか	A
③	学生のボランティア活動を奨励、支援する体制が整っているか	A
[課題] ・前回と比較すると評価が上がり全項目Aとなっている。		
[今後の改善方策] ・ボランティア活動の情報提供などを定期的に行い、学生への意識付けが出来てきた。社会貢献をしながらも学生の学びにつながるような活動を取り入れるよう努める。		

(9) 財務・・・財務状況、監査、財務状況の情報公開

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	B
③	財務についての会計監査が適正に行われているか	B
④	財務情報公開の体制整備はできているか	A
[課題] ・財務状況については、的確に会計監査を受けており、財務情報の発信について課題があると思われる。		
[今後の改善方策] ・全職員に対して、定期的に予算・収支計画の執行状況を説明し、適正な予算利用の意識を高める。 ・財務情報については、ホームページで公開を行っている。閲覧の方法について、あらためて職員へ周知徹底を行いたい。		

(10) 法令等の遵守・・・法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	B
④	自己評価の結果を公表しているか	A
[課題]		
<ul style="list-style-type: none">・個人情報について、あらゆる媒体での情報管理に常に細心の注意を払わなければならない。・自己評価から浮かび上がる問題点と改善策についての説明が必要である。		
[今後の改善方策]		
<ul style="list-style-type: none">・学校関係者評価委員会の実施により、自己評価の結果公表が必要とされる。全職員へも結果公表を速やかに行い、自己評価により明らかとなった問題点を提示し、改善できた事案について随時報告する。		